

# 広島県護憲 通信

憲法を守る広島県民会議

2022年2月1日発行 第11号

〒730-0803 広島市中区広瀬北町3-11

和光広瀬ビル2階2-口

【事務局】社民党広島県連合 TEL 082-942-2768

## 2月11日「建国記念の日」を問う

「建国記念の日」は、侵略戦争を美化し天皇を賛美する象徴的な日だった戦前の「紀元節」を1966年に政府・自民党政権が国民の反対の声を押し切って国民の祝日として復活させた日です。

私たちは、皇国史観・戦前に回帰する動きに反対するため、毎年、2月11日に平和と人権に関する歴史認識を問う集会を開催してきましたが、今年も新型コロナウイルス感染症の影響で中止を余儀なくされました。

### ◆◆神話にもとづく「紀元節」◆◆

「紀元節」は1874年（明治7年）に始まったものです。その由来は「日本書紀」にある神武天皇（初代天皇とされる）が即位した日を現代の暦に当てはめたものと言われています。

したがって、この日付を「日本国の誕生日」とすることは、科学的にも歴史的にも根拠がありません。さらに、この「紀元節」は、「皇国史観」にもとづく戦前・戦中の軍国主義、全体主義を国民に植えつける役割を果たしてきました。天皇陛下のために戦い死ぬことが最大の名誉とされ、結果として自国民とともに世界中の人々を惨禍に巻き込んだあの無謀な戦争を招いてきました。ですからこの反省に立って、敗戦後「紀元節」は廃止されました。



### ◆◆「いつか来た道」をたどらないように◆◆

1991年に「日の丸」・「君が代」を国旗・国歌と定める「国旗・国歌法」が制定されました。また、2018年度からは戦前の「修身」再来とも言われる「道徳教育」が「教科化」されるなど、「愛国心～国を愛する心」を国民に押しつける動きが顕著に表れています。そして、安倍・菅・岸田自公政権による日本学術会議任命拒否問題も戦前の統制・弾圧に通じる暴走であり、明らかに憲法が保障する思想・良心の自由、言論の自由など民主主義と基本的人権を脅かすものです。

私たちは、この歴史的経緯とその意味をあらためて見つめ直し、平和憲法のもとで日本が戦争という「いつか来た道」をたどらないよう行動していかなければなりません。

### ◆◆本の紹介「靖國神社と聖戦史観」◆◆



「紀元節復活反対！平和・民主主義・人権を守る2・11ヒロシマ集会」において、ご講演をいただく予定でありました内田雅敏弁護士が著作されました書籍「靖國神社と聖戦史観」—A級戦犯こそ靖國にふさわしい（発行所＝藤田印刷エクセレントブックス、税込990円）を紹介します。皆さま、是非ともご購入いただきますようお願いいたします。（事務局 藤本講治）

